



毎週月曜日発行
物流産業新聞社

購読料3か月10,500円 振替口座 00950-4-106153
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2012

東京本社 東京都港区南青山7(ロクランビル4F) ☎03(3226)9371(代)
中部本社 名古屋市熱田区尾頭町2-2 ☎052(680)7188(代)
大阪本社 大阪市東住吉区山坂4-15-14 ☎06(6608)0501(代)

全国13拠点をネットワーク



躍進する 女性陣

第296回

東京西濃運輸

高津美帆さん

東京西濃運輸(東京都荒川区)に入社して半年。ロジスティクス部に配属されたが、現在は「物流不動産ビジネス」の研修第一期生として、イーソーコで日々研修を受けている高津美帆さん。学生時代、アルバイト先のコンビニで、次々と納入される商品を見て

「どこから、どうやって運ばれてくるのだろう」と興味を持ったのが、物流を意識した第一歩という。

東京西濃運輸では庫内作業を希望。「フォークリフトを動かしたかった」現場では、入社後に免許を取ったが「スピーディに動かしてパレットでも運べるようになった」。

イーソーコでの物流不動産研修は9月から開始。IT世代で好奇心旺盛さを見込まれて研修生に選ばれた。「庫内作業での人との触れ合いも良かったが、営業研修では、もっ

とたくさんの人との出会いがある。東京ビッグサイトでの国際物流総合展では営業研修として名刺交換をした。より多くの人としよと思う、2日間で150人の方の名刺をもらった」と積極的な一面を見せる一方、「電話は苦手。相手の顔が見えないと感情がつかみにくく不安。もっと数をこなさないといけない」。高津さんが受けているのは、イーソーコドットコムの大谷蔵一会長の著書『これからは倉庫で儲ける!! 物流不動産ビジネスのすすめ』で推奨する研修で、物流企業から条件に合った社員をイーソーコグループが半年間預かり、

物流不動産ビジネスを基礎から実践までを身に付けさせた後、自社に持ち帰って事業に生かしてもらうというもの。「覚えることが多くあって大変だが、毎日が楽しい。自社に帰ったらしっかり事業に生かしたい。現場もできて営業もできる社員になりたい。海外に行くのも好きなので、いつか事業を海外にも展開できたらうれしい」と夢は膨らむ。

「睡眠時間は8時間はほしいが、なかなか確保できない」というが、通勤の電車内でも予習・復習に励む。趣味のフットサルも続けながら、元気に仕事を「楽しんで」いる。

(小澤 裕)

現場も営業もできる社員に